

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の74%（前年並み）。五島奈留地区では、マサバが1日1統当たり3トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり40kgの水揚げ（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり573kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり49kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり756kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり12kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり51kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり238kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり39kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/25～9/30の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは切上げ、順次日本海漁場向け出港。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）3日延4隻、総計775箱、1航海最高431箱、平均193.8箱。スルメイカを漁獲、魚体は（20～30入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-19号 6県ケンサキイカ情報（令和6年度 第4号）」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>